

ぼくらのまち



富士二小
5年
小林真人

ぼくたちの町は、昔は田んぼや畑が多かった。でも、このごろではその田んぼや畑をつぶして、家や道路をだんだん作っている。

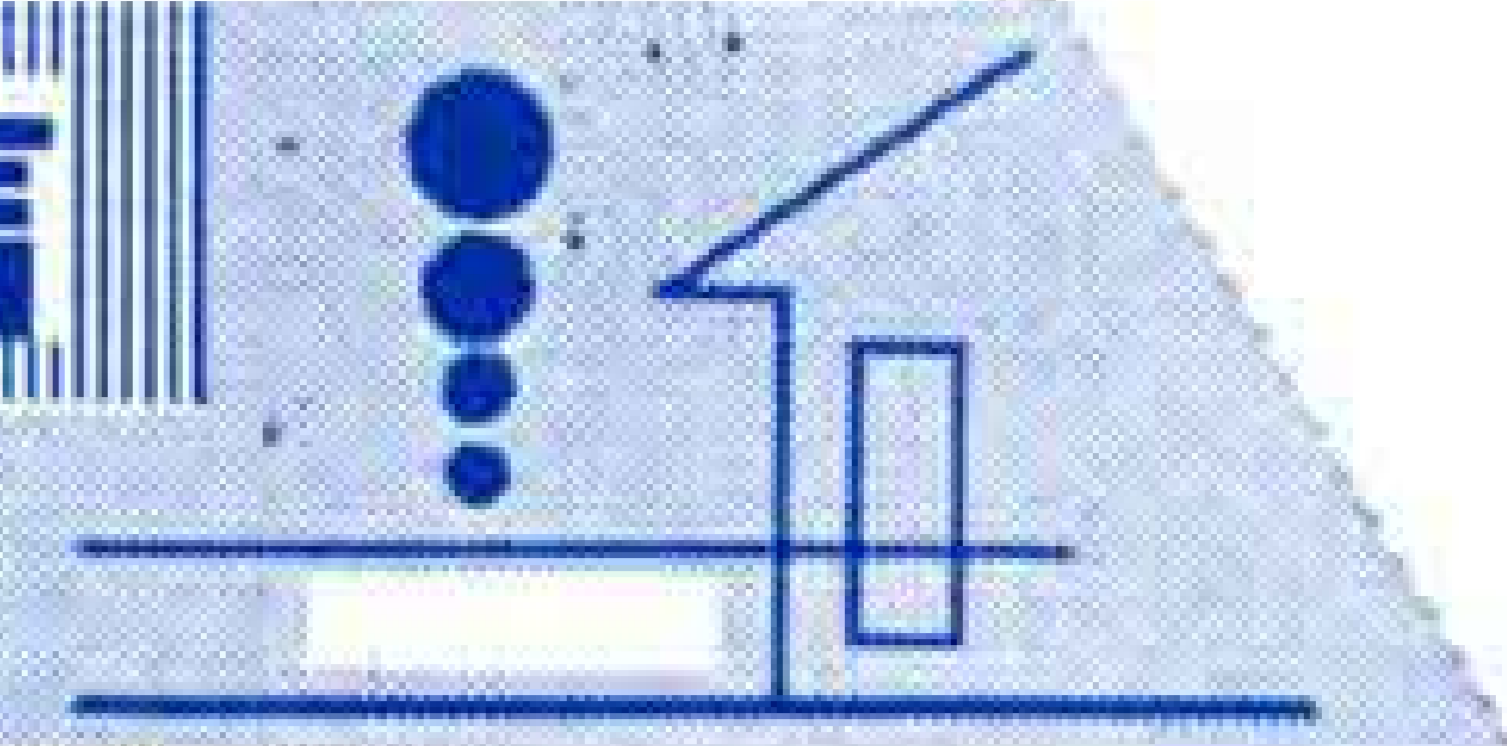
ぼくの家は南側は、前には畑と田んぼしかなく、が、このごろはだんだん家が建つていく。そのため冬の遊び場だった田んぼがつぶされていくので、ぼくたちは自由に遊べなくなってきた。

また、交通事故もふえてきた。ぼくの家近くの5つ角は、よく交通事故がおきる。おと年、ぼくらの学校の女の子が、その5つ角で交通事故で死んだ。そしたら、その5つ角に信号機がつけられた。なぜ、もつと前から信号機をつけておかなかつたのだろう。信号機があれば、その女の子も死なずにすんだかもしれないのに……。

さらに、近くに大きな病院があれば、助かつたかもしれない。このように、ぼくたちの町は発展しているが十分ではない。

そこで、おとなたちが子どものことをよく考え、遊び場などを多く作って、交通事故もなくなつたら、ぼくたちの町は、すばらしい町になると思う。

市政モニター提言



海岸地帯も緑化計画に入れたら…

今回、市では市民とともに緑の町づくりをしようと、新年度予算に大幅に組み入れ、15項目にわたる緑化計画をたてたとうかがいました。ただ、その中に海岸地区の植林と、防風林の保護育成の項目がないとうかがい、非常に残念でなりません。

海岸線の所轄が国であるか、県であるか存じませんが、万葉の昔から青松白砂の名勝地として知られた田子の浦は、この由緒ある老松が年ごとに枯れ、いまではわずかしが残っていません。

自然から沿岸住民の生命と財産を守ってくれ、塩害や砂ぼこりから防いでくれた防風林。住民も代々松を愛し、下刈りや施肥などの勤労奉仕をして、いつくしみ育ててきました。その松が残り少なくなつてくるのを見るにつけても情けなくなつてしまいます。

また、毎年のように植樹している松もある程度まで成長すると、すぐに枯れてしまうという状態です。昨年は堤防の内側に松苗を植えまし

たが、やれ建設省だ、やれ林野庁の所轄だということで松苗を抜いたり、植えなおしたりしていました。お役所仕事にはあきれてしまいますが、でもそんなことばかりいつてはいられません。

海岸住民の安全を守るためには、国だ県だ、市だ、ということなく、ようは住民が納得できる計画をたてていただきたいのです。

千本松原には松だけでなく、ちがう樹木が繁つています。富士市も緑化計画のなかに海岸地域を入れ、土地にあつた樹木を探し、一大緑地帯をつくつてほしいものです。

なお、なぜ松が枯れてしまうのか原因をよく調べ、松を保護するようあわせてお願いします。

(中丸・時田みえ子)

【海岸地域を一大緑地に…】



当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。急病などでお困りのときにご利用ください

- 4月2日
 - 外科 渡辺病院(錦町 51-3751)
 - 宮下医院(平垣 61-0376)
 - 産婦人科 武田医院(西宮島61-3490)

- 4月9日
 - 外科 米山病院(吉原4 52-3060)
 - 田辺医院(本市場 61-8410)
 - 産婦人科 山下医院(西国窪52-0611)

- 4月16日
 - 外科 秋山医院(富士岡 34-0075)
 - 中央病院(本市場 61-8800)
 - 産婦人科 柵山医院(厚原71-4771)

- 4月23日
 - 外科 吉田医院(石坂 51-2515)

- 原 医院(松岡 61-0988)
- 産婦人科 吉見医院(吉原4 52-2399)

- 4月29日
 - 外科 井上医院(富士見町 52-0988)
 - 山崎医院(厚原 71-3315)
 - 産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

- 4月30日
 - 外科 芦川病院(中央町2 52-2480)
 - 望月医院(本市場 61-0401)
 - 産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)

※4月から内科は富士医師会が「医療センター」で行ないます。診療時間は午前9時から午後5時までで、時間外の診療はいたしません。

・医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町) 電 52-31111」です。